タイトル

―副題（なければ行ごと削除）―

姓　名

（北方大学）

キーワード：言語、研究分野、研究方法など、最大５つ

1. 節タイトル

　本文（10.5 pt）

　脚注（9 pt）[[1]](#footnote-1)

［原稿書式（入稿時に削除してください）］

１．ファイル形式：　原則としてWindows版Wordとし、PDFファイルを合わせて提出すること。ただし、これによりがたい場合は事務局に相談すること。

２．判形：　A4判、マージン上下各35 ミリ、左右各30 ミリ。ページ番号・ヘッダーは編集サイドで付けるので、設定しないこと。

３．行数・字数：　1ページ39行、1行（和文）40字程度（ただしテキスト・語彙集などでは適宜設定可）。

４．フォント：　和文原稿の場合、本文 明朝10.5ポイント、標題 明朝12ポ、氏名・所属 明朝11ポ（標題・氏名・所属とも中央、所属は（〇〇大学）のように機関名のみでカッコ付き、専任以外は博士課程、研究員、研究生等まで）、章見出しゴシック10.5ポ、英文サマリーTimes New Roman 12ポ。例文表記等ではフォントの種類・サイズを適宜設定してよいが、（標準的に装備されていないような）特殊フォントを利用する場合は、フォントファイルも添付すること。　英文原稿の場合、本文ではTimes New Roman 12ポイントを基本とし、標題・氏名・所属は適宜拡大する。章見出しはボールドとする。

５．キーワード：　氏名（所属）のあとに、使用言語によるキーワード（5つまで）をあげる。

６．注：　原則として脚注とし、和文9ポイント、英文10.5ポイントとする。文献への言及のみの場合は本文中にカッコ書きし、注にしない。

７．句読点：　和文原稿の場合、本文については「、 。」を原則とする。ただし、英数字が連続する場合はカンマで区切る。また、参考文献リストでは「， ．」とする。

８．文献・例文書式：　参考文献、例文の示し方等については『言語研究』 執筆要項に準じる。参考文献リストにあげるのは本文中で言及・引用したものに限る。

９．英文サマリー：　和文原稿／英文原稿とも英文によるサマリー（20行程度）を付ける。ただし英文原稿では英文サマリーに代えて和文要旨（和文標題付き、400字程度）を付してもよい。和文原稿では、英語タイトル（各語の頭のみ大文字）、1行あけて氏名英語表記（Taro Kitano のように姓は後で頭以外をスモールキャピタルとする）、所属機関名英語表記は（Hoppo University）のようにカッコ付きで。以上いずれもセンター合わせ。Summary, Abstract などと書く必要はない。英文原稿では、Summaryとして英文によるサマリー本文または上記要領の和文要旨のいずれかを付す。

10．配列：　標題、氏名（所属）、キーワード、本文の後に、（必要に応じて）略号表、参考文献（引用文献）、英文サマリーの順で、改ページせずに（適宜行あけして）続ける。和文原稿ではサマリーのあとに1行あけて、10.5ポイントで（きたの・たろう　kitano\_taro@hoppodai.ac.jp）のように、著者名ふりがなとメール・アドレスをカッコ書き、右寄せで付す。英文原稿ではメール・アドレスのみでよい。

［原稿提出・修正に関するお願い（入稿時に削除してください）］

1. 原稿提出の前に，英文（本文・要旨）のネイティブチェックを受けてください（日本語が母語ではない方が和文で投稿する場合にも，本文のネイティブチェックが必要です）

2. 修正稿を提出する際には，査読者からの指摘・コメントに対する修正報告も併せて提出してください（wordコメントへの返信や別紙などによる）．大幅な修正はこの段階までに必ず済ませてください

3. 初校チェックでは，修正箇所は最大でも10か所程度に留めてください．メール本文・wordコメント・PDF注釈などにより修正箇所を指示してください

4. 最終原稿チェックでは，最低限のみの修正に留めてください．初校と同じくメール本文・wordコメント・PDF注釈などにより修正箇所を指示してください

5. PDFで入稿の場合には，著者ご自身により以上の修正をお願い致します．ページ番号は印刷段階で入れる予定です

English Title (12 pt) [[2]](#footnote-2)

Name Surname

(North University)

Keywords: Optional（なければ行ごと削除，普通名詞は小文字始まり）

Body of summary

 (2nd paragraph of summary)

 (3rd paragraph of summary)

（ほっぽう・げんご　hoppo@north.ac.jp）

1. 脚注（「両端揃え」の設定にすることが望ましい） [↑](#footnote-ref-1)
2. 内容語は大文字始まり（この注は入稿時に削除してください） [↑](#footnote-ref-2)